

2022 年度 個人研究実績・成果報告書

2023 年 4 月 23 日

所属	商経学部	職名	教授	氏名	奥寺 葵
研究課題	政労使の「働き方改革」戦略				
研究キーワード	ワーク・ライフ・インテグレーション	当年度計画に対する達成度	4.当初の計画どおり研究が進まなかった		
関連するSDGs項目	8. 働きがいも経済成長も	3. すべての人に健康と福祉を	5. ジェンダー平等を実現しよう	10. 人や国の不平等をなくそう	
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>1) 「働き方改革」は、すべての働く人々が自らの職業生活を考え、企業が経営面を改善し、グローバルな競争力をもった組織として生き残っていくための重要かつ統合的な戦略である。危機管理時代を乗り越えるために、経営面では、政府の社会政策・労働政策と仕事、家庭、生活、社会の側面をより密接に統合して進んでいかねばならない。またその観点から未来を切り拓く働きやすい職場整備や労働条件面での経営方途がどのようなものであるかを探り、ワークライフ・インテグレーションがいかに展開し寄与するのか提唱した。</p> <p>2) 学長プロジェクト2のメンバーとして、真に社会に必要とされるあるべきUSRについて研究した。特に、2022年度は昨年度開発した社会的責任の視点からの新しい大学ランキング指標に基づき、本学の取り組みの実態調査を行なった。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）</p> <p>【論文（査読あり）】</p> <p>【著書・論文（査読なし）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奥寺葵（掲載決定・未刊行）書籍セッション：平澤克彦・中村艶子編（2021）『ワークライフ・インテグレーション：未来を拓く働き方』ミネルヴァ書房『労務理論学会誌』第32号 <p>【学会発表等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奥寺葵（2022）書籍セッション報告：平澤克彦・中村艶子編（2021）『ワークライフ・インテグレーション：未来を拓く働き方』ミネルヴァ書房、第32回労務理論学会全国大会（於：拓殖大学）2022/07 ・奥寺葵（2022）「アフターコロナで社会はどう変わるか～変容する社会と学生支援の課題～」2022年度「これからの大学を支える若手職員研究会」NPO 法人学生文化創造主催 <p>3. 主な経費</p> <p>パソコンとプリンターが老朽化したため購入したほか、関連書籍の購入に使用した。</p> <p>4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）</p> <p>【活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・労務理論学会 幹事、編集委員 ・日本私大教連 執行委員 					

(本文は2ページ以内にまとめること)